

教育目標「希望に燃えて 伸びゆかん」
心やさしく、人を大切にする子 自分の考えをもち、共に学び合う子
自分を表現し、相手を大切にする子 ふるさとを愛し、誇りに思う子

〒625-0133 舞鶴市字平 1583 番地
TEL (0773)-68-0002
FAX (0773)-68-0007
HP <https://oura-maizuru.edumap.jp/>



進んであいさつ

～いつの時代でも大切なこと～



長い夏休みも終わり、本日から2学期が始まりました。子ども達は充実した夏休みを過ごしたでしょうか。夏休みの宿題は計画的に進めることができたでしょうか。どんな体験や経験が子ども達の心に残っているでしょう。

この夏、全国で熱狂したことと言えばパリオリンピックと高校野球ではないでしょうか。オリンピックでは日本選手が大活躍をし、獲得した金メダルの数は20個で、世界で3番目でした。夏の高校野



7月27日(土)「大浦交流バーベキュー」の様子

球では、決勝戦で京都国際高校が関東第一高校を2対1で競り勝ち、初優勝を果たしました。京都府の代表校の優勝は68年ぶりだそうです。オリンピックや高校野球で、試合後お互いの健闘をたたえ合ってあいさつをする姿は感動的な場面のひとつです。勝ち負けに関係なく「相手に敬意を表する」「相手を尊重する」ことは自分がどんな立場になろうとも大切なことです。

ところで、私はこの夏、中部地方の北アルプスへ登山に行きました。標高3000m級の山で真夏でもとても涼しい場所です。夏休みということもあり、夏山はたくさんの登山者でにぎわっていました。中には外国籍の方もたくさんおられました。登山道ではすれ違った人にあいさつをするマナーがあります。私は登山道でのあいさつは日本だけの慣習だと思っていたのですが、どうやら万国共通のマナーのようです。山では国境を超えて「こんにちは」とあいさつを交わします。では、なぜ登山道ですれ違った人にあいさつをするのでしょうか。色々な意味があるようですが、危機管理の面が大きいようです。あいさつを交わすことでコミュニケーションが生まれ、貴重な情報交換の場になります。「この先、浮き石が多いですよ。」「頂上は天気が悪くなってきましたよ。気を付けてください。」等、最初に「こんにちは」とあいさつをしたことで命にも関わる貴重な情報を得ることができるのです。誰にでも「こんにちは」とあいさつをしたり、「ありがとう(ございます)。」「とお礼を言ったりすること。これはいつの時代になっても大切にしていきたいものです。

地域の方々が登下校中の児童に優しくあいさつをされている場面を見ます。子ども達はきっと見守られているという感覚を持ち、温かく感じる地域のことが好きになるのだと思います。

2学期には運動会をはじめ、たくさんの行事があります。保護者や地域の皆様には、何かとお願いばかり申しあげることになると思いますが、御理解と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

校長 鎌野 高信 教職員一同

○本校教育活動の広報発信の一つとして、学校ホームページを随時更新いたします。
右記のQRコードからも開くことができます。ぜひ御覧ください。

